

上映会のご案内

チョコレート市「やまぐち」に、
チョコレートの優しいチカラを届けたい。

温めれば
何度でも
やり直せる

世界中のカカオと
のみんな

山あり谷あり、もがき続けて19年



ひとり親の支援の中でもDVで障害を持ったり、障害のある子を育てたり、社会参画の難しい家庭があります。この映画を上映することで久遠チョコレートの取り組みを市民の皆さんに知っていただき、久遠チョコレートのような優しい取り組みが山口市にも広がることを願っています。

「チョコレートな人々」上映実行委員会 委員長
ひとり親支援団体 .Style (ドットスタイル) 代表 小西 凡子

詳しくは裏面へ

「温めれば、何度だって、やり直せる」夢のような力
私たちのチョコレート工場へようこそ！

『人生フルーツ』『さよならテレビ』の東海テレビドキュメンタリー劇場最新作 日本民間放送連盟賞テレビ部門グランプリ受賞作がついに映画化！

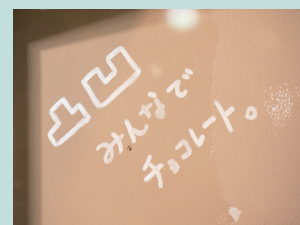


“人生はチョコレートの箱のようなもの。
開けてみなくちゃわからない”

これは、映画『フォレスト・ガンプ／一期一会』の名台詞。

愛知県豊橋市の街角にある「久遠チョコレート」。世界各地のカカオと、生産者の顔が見えるこだわりのフレーバー。品のよい甘さと彩り豊かなデザインで、たちまち多くのファンができました。その人気は日本中に広がり、いまではショップやラボなど全国に52の拠点をもち、華やかなデパートのイベントの常連になっています。

「久遠チョコレート」は、ほかのブランドとは一味違っています。代表の夏目浩次さんたちスタッフは、かれらが作るチョコレートのように、考え方がユニークでカラフル。心や体に障がいがある人、シングルペアレントや不登校経験者、セクシュアルマイノリティなど多様な人たちが働きやすく、しっかり稼ぐことができる職場づくりを続けてきました。



“本当に必要なのは愛だけ
たまにはチョコも悪くない”

こちらは、漫画『ピーナッツ』の
ちょっと意地悪な女の子、ルーシーの言葉。



© 東海テレビ放送

チョコレートな人々

11/8(土) 16:00~ 上映会 ●入場料 500円
(開場 15:30) バリアフリー日本語字幕付き

久遠テリーヌ 1枚プレゼント

11/9(日) 13:00~ 上映会 ●入場料 500円
(開場 12:30) バリアフリー日本語字幕付き

久遠チョコレートの販売もあります！

15:00~ トークイベント 要約筆記付き

久遠チョコレート代表 夏目浩次氏

2003年脱サラし、愛知県豊橋市で障がい者の低賃金からの脱却を目指すパン工房を開業。2014年久遠チョコレートを立上げ。現在全国41店舗61拠点を展開し、約780名の障がい者や多様な方々が働くチョコレートブランドとして成長している。2018年ジャパンSDGsアワード内閣官房長官賞を受賞。2023年東海テレビ制作「チョコレートな人々」が映画化。2024年テレビ東京系列「日経スペシャル カンブリア宮殿」に出演。講談社より「温めれば何度だってやり直せる」(夏目自叙伝)が出版され、広く経済界からも注目を集めている。

会場

中市コミュニティホール Nac
山口市中心商店街 (山口市市中町 3-13)



主催:「チョコレートな人々」上映実行委員会
街づくり山口

後援:山口市、山口市市民活動支援センターさぼらんて

〈運営事務局〉.Style(ドットスタイル)
MAIL chocohito.yama@gmail.com
TEL 083-922-0697(藤原)
Instagram @tyokohito_yama

